



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

3-3-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo, 100-0013 Japan
TEL: +81-3-3593-0139
FAX: +81-3-3593-0138
URL: www.butsuryu.or.jp

News Release

令和3年2月25日

令和2年度第3回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を開催

(一社)日本物流団体連合会(渡邊健二会長)は、2月25日(木)、今年度第3回となる「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を千代田区神田錦町の学士会館で開催した。

これは、物流事業の海外進出に関する課題について官民連携して検討する会合で、国土交通省や会員企業から31人(内12名がWeb参加)が参加した。

新たな試みとして開始した、会員企業の海外駐在員による講演の第二段として、鴻池運輸のタイ現地法人、KONOIKE ASIA(THAILAND)CO.,LTD. 村上社長による、「タイの物流事情」と題し実施した。

講演ではタイが2036年までに高所得国入りを目指す「タイランド4.0」計画の推進に際しての、インフラ(内陸ICD、大型橋梁、新港開発)強化の計画や、Free Zone(保税地域)の制度と活用、周辺国との越境交通円滑化協定(CBTA)等が報告された。

また、混雑の激しい交通事情や物量の偏在や片荷などトラック輸送の課題や、天然ガス車が普及する背景、活用が進まぬ鉄道輸送の現状や、今後の成長が期待される倉庫業、E-Commerce、コールドチェーン物流等についても紹介された。

さらに、外資企業の共通の課題として関税や通関リードタイムの実態や新関税法(2017年)の効果等についても紹介された。将来にむけては、クロスボーダー輸送に海運、航空を絡めた日本への新ルート開発についても触れられた。

タイは日本人には馴染みが深いものの、一般的には知りえない情報が満載であり、出席者はとても興味深く耳を傾け、多くの質問がなされた。

続いて、国土交通省総合政策局参事官(国際物流)室 馬場物流渉外官から「最近の国土交通省の国際物流政策の取組」について最新の情報が説明され、最後に来年度の当ワーキングチームの活動に関して討議し終了した。

次回は5月を予定している。

【最近の取組を発表される馬場物流渉外官】



【BKK から講演されるタイ鴻池村上社長】



【会合が開催された学士会館】

